

令和7年度第3回「新卒入社時、管理職就任時における社会人基礎力研修カリキュラム開発分科会」

報告

- 1 日時 令和7年 8月19日(火) 15:00～17:00
- 2 場所 産業技術短期大学校 西館棟(西キャンパス) 特別教室5

3 分科会委員

- (座長) 上原 歌織 (株)日本人材開発センター  
加藤 敏明 (株)就職塾  
平山 実 いすゞ自動車高等工業学校  
高橋 厚之 東部総合職業技術校  
木下公太郎 神奈川県職業能力開発協会  
菅原 朋之 横浜国立大学  
島村 泰子 キャリア・エンパシー  
千葉 香 神奈川産業振興センター  
伊藤 靖彦 伊藤経営労務コンサルタント事務所  
芦立 延行 (株)パーソルクロステクノロジー  
歌川亜沙子 (株)宮川製作所  
西澤 克巳 TMCシステム(株)

人材育成支援センター(事務局)

- 田中 暁 人材育成支援センター所長  
高松 徹 // 副技幹  
津久井二郎 // 主査  
植村 道忠 // 人材育成コーディネータ

\*分科会委員の出席

出席者：上原座長、加藤委員、千葉委員、高橋委員、木下委員、菅原委員、芦立委員、歌川委員  
(人材育成支援センター 高松、津久井、植村)

4 内容

ア 宿題(講座構築案)について

① どのような能力か

- ・ビジネスの現場や社会生活で必要とされる能力
- ・周囲を慮る
- ・自分の意思を表現できる
- ・自分を信じる
- ・新人：創造力(アイデアを生み出す)、管理職：想像力(思考プロセスを働かせる)

② なぜ必要か

- ・職場での円滑な仕事や良好な関係を築く

- ・新人：自社の現在や方向性、自分の業務や有り様を意識する
  - ・管理職：チームの活性化や人材育成を円滑に行う
  - ・人間関係を良好にするため
- ③ 高めるにはどのように考え、行動すればよいのか
- ・コミュニケーション能力向上、主体性・責任感、自己管理能力の強化、協働・チームワークの促進、継続的な学習意欲
  - ・新人：世の中の動き、AIの動向等情報収集と自身のキャリアを考える
  - ・管理職：チームの活性化、個人の特性把握と育成、いきいき職場づくり
  - ・自己啓発を続ける
- ④ 求められる場面
- ・コミュニケーション（報連相、取引先、会議やプレゼンテーション）
  - ・チームでの協働（業務の円滑化、役割分担、情報共有）
  - ・問題解決、意思決定（業務上の課題やトラブルへの対応と解決策）
  - ・自己管理と時間管理（スケジュール調整、仕事と私生活のバランス）
  - ・ビジネスマナーや礼儀正しさ（挨拶、言葉使い、服装、敬意・感謝の気持ち）
  - ・新人：自身のやり方や会社のやり方について何が問題かを絶えず意識する
  - ・管理職：チームや個々の行動を注視し変化に気づくこと
  - ・行動計画、プロジェクト、重要な立場
- ⑤ 具体的事例
- ・ビジネスマナー研修、自己啓発、実務経験
  - ・新人：絶えず「なぜか」を考える、業務円滑化のためのコミュニケーション、問題発見・解決についての発表会、会議、対話よりも雑談を重視
  - ・管理職：チーム個人の強み・弱みの把握とチームの方向性の共有、会議、雑談よりも対話を重視
  - ・【報告と迅速な行動】金曜日の夕方に、部下の報告で問題発生したことを知り、その日のうちに対応し事無きを得た。月曜日に行動していたら最悪な結果になっていたであろう事例
- ⑥ 発揮するコツ
- ・自己管理能力を高める、コミュニケーション力を磨く、問題解決能力を養う、協調性を意識する、継続的な学習意欲を持つ
  - ・新人：価値観の相違を許す
  - ・管理職：知性を活かし感性を磨く、部下の承認欲求を満たす
  - ・失敗を恐れない、自分を卑下しない、自分を信じる
- ⑦ 阻害要因
- ・自己認識不足、経験不足、学習意欲の低下、環境の制約、時間的制約、フィードバックの不足、心理的障害
  - ・新人：会社の求める人材像を明確にしない
  - ・管理職：会社上層部との対立を覚悟
  - ・諦める、不可能と思う、やる前にできないイメージを描く、依存心が強い
- ※ 特に管理職として特徴的なこと
- ・部下への思いやりが重要（部下への接し方）
  - ・背中を見せるだけでなく、理解を得ることが重要

- ・自分のやっていることを説明できる
- ・巻き込み力
- ・コミュニケーション力が足りない
- ・腹を割るような互いの意思疎通が必要
- ・出来るきっかけになる言い方（いざとなった時の表現力）
- ・表現力の強化にはディスカッションが必要
- ・聴く力
- ・「言う」と仕事が増える」ということも阻害要因になるのではないか
- ・管理職は人に希望を与えられるような人ではないか

## イ ワーク体験（委員全員）

### ① 新入社員の自己啓発チェックシート（入社6か月）

- ・社会人マナー、職場態度、コミュニケーション、チームワーク、基本業務知識、自己啓発について、若いころを思い出しながらチェック（各項目20点満点にて自己評価）
- ・チェック結果をレーダーチャートに記し、各委員自己評価していたが、やはり少し丸くなっている自分があるだとか、場合によっては良悪どちらにもとれるように感じたなどの感想を言う結果になっていた

### ② 社会人基礎力チェックシート（カード使用）

- ・社会人基礎力（3分類、12能力要素）をカード化したもので、一つ一つ内容を検討し、自身の能力を判断し、自分の強みや改善点をチェックするワーク
- ・結果として、「良い」「普通」「悪い」のうち、「普通」の扱いが重要で、どちら寄りか、或いはどうすれば「良い」になるのかを隣同士で意見交換
- ・普段一緒に仕事している職場でこれをしてほしい、自分が感じていることと周りが感じていることが同じか或いは違っているかなどを調べてみたい、という意見が多かった
- ・これを、全く会社が違う受講者が集まる講座で、グループワークとしてやる場合の方法も考えなくてはけない

### ③ 【課題解決機能】自分の強み・改善点シート

- ・この評価シートを参考に社会人基礎力チェックシートを作っていくので、次回これについて検討します

## ウ 次回（第4回）について

（日時）令和7年9月16日（火）15:00～17:00

（会場）産業技術短期大学校 西キャンパス特別教室5

（内容）・社会人基礎力カードを使ったチェックシート作成について

以上